

地域おこし協力隊 Vol.01

地域おこし協力隊を紹介します!

移住・定住コンシェルジュ



むらかみ たかし
村上貴志 さん

出身：大阪府河内長野市
趣味：ウォーキング、硬式テニス、日本酒
特技：何事にも好奇心旺盛なこと
座右の銘：一期一会

移住・定住コンシェルジュ



すずき よしかず
鈴木良和 さん

出身：千葉県野田市
趣味：読書、ツーリング、ボルダリング
特技：好奇心旺盛でなんでも挑戦
座右の銘：つべこべ言わずにやってみる、それでダメなら迷わず逃げろ。

先 月の広報きくちで紹介した「地域おこし協力隊」。市外・県外から移住してきた7人の隊員は現在、「移住・定住」「文化」「健康」「ブランド」「癒し」「観光」の6つの分野で地域おこしに取り組んでいます。任期は最長で3年間。活動終了後も本市に定住してもらう予定です。なぜ都会から菊池市に移住してきたのか。ここでどんな取り組みをしていくのか。地域おこし協力隊の人物像や活動内容を、今月からシリーズでお届けします。

記念すべき第1回は、空き家調査や物件の情報提供を行う移住・定住コンシェルジュの2人です。

—なぜ菊池市で協力隊をしようと思ったのですか。

村上 大きな理由は二つ、両親と起業です。両親が菊池市出身で、リタイア後に移住が決まったこと。もう一つは、地方創生といわれる中、自分も地域の役に立ちたいと考えていたとき、ちょうど協力隊の募集があったことです。

鈴木 もともとは福岡に住んでいたのですが、3年ほど前に単身赴任で千葉に行きました。体調を崩したこ

ともあり、単身生活に無理を感じて仕事を辞めることを決意しました。福岡に帰省した際、妻から「菊池温泉っていうすごく良い温泉があるから旅行に行こう」と誘われたんです。早速行ってみると、ちょうどその日に熊本で協力隊の説明会が行われていました(笑)。妻に謀られたかなとも思いましたが、こうして菊池に来れたのでありがたいですね。

—どんな活動を行っていますか。

村上 先日開所した「きくち暮らし」で、空き屋バンクへの登録データ作成や空き家調査を行っています。移住・定住したい人の相談や、区長会でのあいさつ周りもしています。いろんな行事にも参加し、活動の様子をフェイスブックで配信しています。一度「菊池市地域おこし協力隊」で検索してみてください。

鈴木 ほかに、ガイドブックや移住ツアープランの作成も進めています。

—菊池市の印象はいかがですか。

村上 きれいな水が印象的です。天然水を直接飲める水場があるのは驚きました。知人に紹介したら、すぐくうらやましがっていました。満員

電車に揺られ通勤し、閉ざされたビルの中で働くのではなく、自然豊かな環境で仕事ができるのは本当にありがたいです!

鈴木 やっぱ水がいいですね。温泉にもよく行きますし、水源に水汲みにも行きます。それから住んでいる人です。最初は「区に入る」ということがよく分からなかったのですが、実際に転居してきた地区の行事に参加すると、皆さんがとても良くしてくれて。前号の広報の効果もあり、どこに行っても「広報に載っていた人だ!」と言われるんです(笑)。都会では煩わしかった人間関係を楽しんでいきます。

—3年後、菊池市をどんなまちにしたいですか。

村上 御所通りがにぎやかになるように、おしゃれなカフェやバーなどをつくって、若い世代の移住者が増えるようにしたいですね。

鈴木 たくさんの移住者が入ってきて活気があり、元から住んでいる人たちも楽しく過ごせるようなまちにしていきたいです。

—ありがとうございました。

次回は観光プロモーターの辻博之さんを紹介します。



AR



1 式典には多くの地域住民が出席 2 除幕式 3 新たにできたセンターの看板と地域おこし協力隊の皆さん 4 元校舎の一室を執務室に。市民の交流施設としても活用していく 5 移住・定住支援センターに生まれ変わった旧龍門小学校舎



癒しの里きくち「きくち暮らし」

移住・定住支援センター開所式

生まれ変わった龍門小

2年前に閉校した旧龍門小学校で6月17日、「癒しの里きくち「きくち暮らし」移住・定住支援センター」の開所式を行いました。

マネージャーを務める福井浩さんは「菊池の素晴らしい自然と文化を後世に残しつつ、新しい人も呼び込む力になりたい」と抱負を述べました。

今後の活動

センターには3人の地域おこし協力隊が勤務。うち2人は移住・定住コンシェルジュとして、移住・定住希望者に空き地や空き家の情報を提供するほか、移住・定住がスムーズに進むように地域住民とのパイプ役などを担います。

移住・定住コンシェルジュを務める村上貴志さんと鈴木良和さんは「センターを活用して地域に溶け込み、移住者と定住者両方に喜んでもらえるような取り組みを行っていきたい」と話しました。

次のページでは、この2人の協力隊員を紹介します。